



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

# 2023年度 中間決算説明会

2024年1月24日



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

証券コード：5269

1. 2023年度中間業績概要
2. トピックス
3. 2023年度通期業績・配当予想
4. 参考資料

1. 2023年度中間業績概要
2. トピックス
3. 2023年度通期業績・配当予想
4. 参考資料

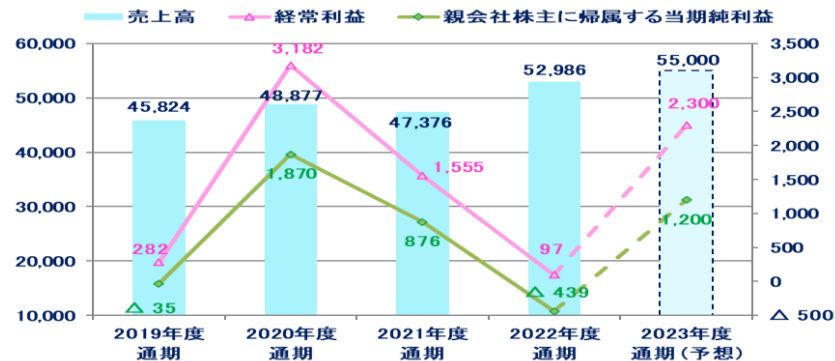
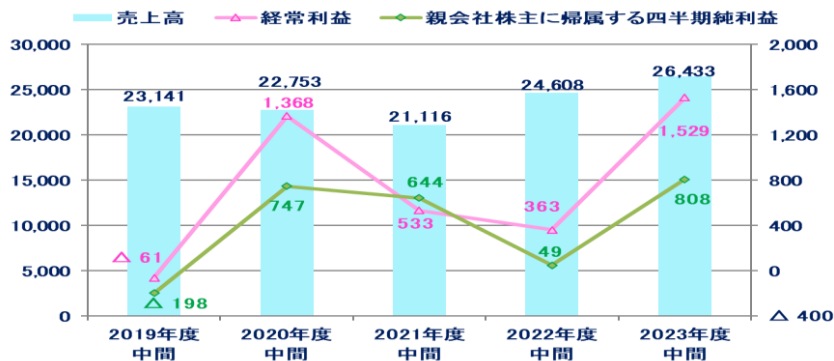
# 連結損益計算書

- ◆ 経営改善計画の着実な推進により、適正価格の浸透やコスト低減が進む。
- ◆ 中間期においては、業績改善に想定以上の効果が出ており、  
通期にて過去最高益を計上した2020年度に迫る利益計上を達成。

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減		公表値	
	実績 (A)	実績 (B)	前期比 (B)-(A)=(C)	増減率(%) (C)/(A)	2023年 5月19日	2024年 1月11日
売上高	24,608	26,433	1,825	7.4%	27,000	26,400
営業利益	40	1,273	1,232	3,034.6%	650	1,250
経常利益	363	1,529	1,166	320.4%	800	1,500
親会社株主に 帰属する四半期純利益	49	808	759	1,532.9%	400	800

## ◆ 過去5年間の推移(中間・通期)



- ◆2022年度の赤字決算・無配を受け、経営改善計画を策定(2023年5月発表)。
- ◆2023年度上期は各種施策を着実に推進、成果をあげつつある。

- 聖域なき経費削減
- 製造コスト・トラブル対応コスト削減
- 適正価格の浸透  
⇒約9億円の効果
  
- ポール・PC-壁体の拡販  
⇒約3億円の利益を上積み

前年同四半期比  
約 **12** 億円  
の営業利益改善

# 連結セグメント別売上高・損益

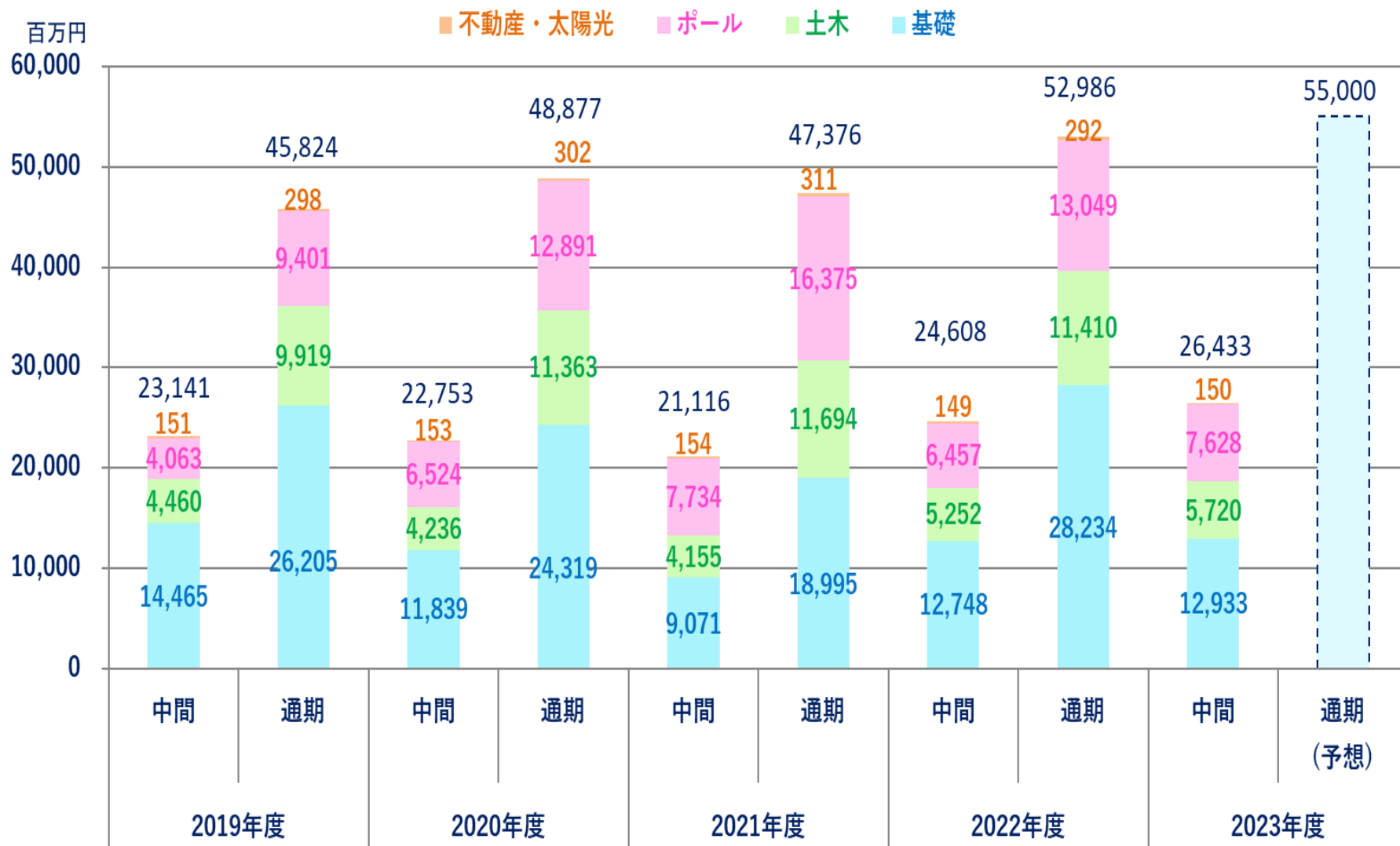


- ◆基礎事業において全国需要、当社グループ出荷量はともに  
想定を下回ったが、工事採算が改善し、増益。
- ◆二次製品事業は、コンクリートポールの出荷増に加え、  
PC一壁体等プレキャスト製品の出荷・施工が想定より順調に進み、増収増益。

(単位:百万円)

売上高				
	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
基礎事業	12,748	12,933	185	1.5%
コンクリート二次製品事業	11,709	13,349	1,639	14.0%
不動産・太陽光発電事業	149	150	0	0.3%
計	24,608	26,433	1,825	7.4%
営業損益				
基礎事業	200	550	349	174.9%
コンクリート二次製品事業	525	1,360	834	158.7%
不動産・太陽光発電事業	94	95	1	1.4%
調整額	△ 779	△ 733	46	-
計	40	1,273	1,232	3,034.6%

# 連結セグメント別売上高推移



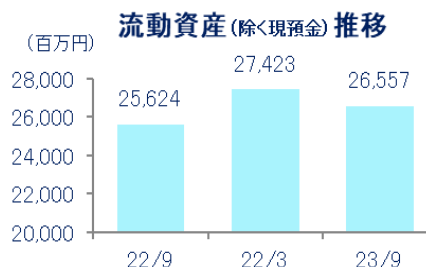
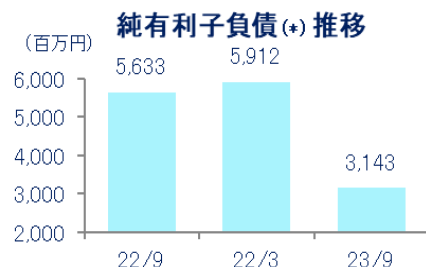
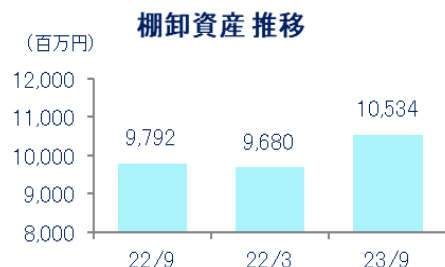
# 連結貸借対照表

- ◆ 棚卸資産と現預金が事業の復調により増加し流動資産増。
- ◆ 有利子負債を若干圧縮。
- ◆ 投資有価証券評価額の増加により固定資産も増。

(百万円)	前期末	当中間期	増減額
流動資産	34,559	35,672	1,112
現金及び預金	7,136	9,114	1,978
固定資産	42,503	44,706	2,202
有形固定資産	26,452	26,278	△ 174
無形固定資産	596	841	244
投資その他の資産	15,454	17,586	2,131
資産合計	77,063	80,378	3,315

(百万円)	前期末	当中間期	増減額
負債合計	39,404	40,298	894
有利子負債	14,036	13,371	△ 664
純資産合計	37,658	40,080	2,421
株主資本	26,451	27,261	810
その他の包括利益累計額合計	8,498	9,992	1,494
非支配株主持分	2,709	2,825	115
負債純資産合計	77,063	80,378	3,315

	前期末	当中間期	増減
自己資本	34,949	37,254	2,305
自己資本比率(%)	45.4	46.3	1.0
D/Eレシオ(倍)	0.40	0.36	△ 0.04



\* 長期・短期借入金 + 社債 - 現預金



# 連結キャッシュフロー計算書



- ◆前期大型工事案件の回収が今期に入り進み、営業CFは大幅に増加。
- ◆環境事業の設備投資が進んだが投資CFは例年並み。



	2019年度 中間	2020年度 中間	2021年度 中間	2022年度 中間	2023年度 中間
営業キャッシュフロー	△ 813	2,860	1,994	△ 110	3,429
投資キャッシュフロー	△ 839	△ 1,349	△ 2,702	△ 693	△ 609
財務キャッシュフロー	△ 267	505	1,334	△ 901	△ 849
フリーキャッシュフロー	△ 1,652	1,510	△ 708	△ 804	2,820

1. 2023年度中間業績概要
2. トピックス
3. 2023年度通期業績・配当予想
4. 参考資料

- ◆2023年5月5日のランサムウェア感染により主に決算・監査手続きに影響。
- ◆事業活動の維持と復旧に努め、生産・販売等への直接的な影響は軽微。
- ◆決算発表遅延の期間は徐々に短縮し、本決算では予定通りとなる見込み。

- **第1四半期決算発表**  
⇒約3ヵ月遅延(2023年11月6日発表)
- **第2四半期決算発表**  
⇒約2ヵ月遅延(2024年1月17日発表)
- **第3四半期決算発表**  
⇒約1ヵ月遅延見込み(2024年3月中旬発表予定)
- **本決算発表**  
⇒予定通りの見込み(2024年5月中旬発表予定)

- ◆資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた東証からの要請内容に対して、当社グループは現在、現状分析を実施し、計画策定に向けて検討を進めている。

## 現状の当社資本コストは 「4%弱」と認識

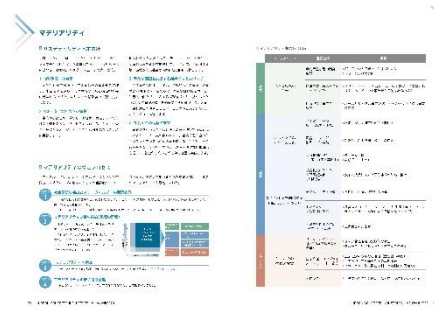
具体的な対応は次期中期経営計画  
に盛り込み、発表予定  
(2024年5月予定)

◆非財務情報開示の充実による当社グループのサステナビリティ等への取り組みに対する理解促進を目的として、2023年7月に初めて統合報告書を発表。



- ・価値創造プロセス
  - ・サステナビリティ
  - ・気候変動対応
  - ・人的資本基本方針
- 等を

⇒網羅的に説明、引き続き積極的な開示を進める



## ◆従来工法の性能を更に追求したHyper-ストレートNT工法を開発。 本日1月24日にプレスリリースを当社HPへ掲載。



2024年1月24日

各 位

従来工法の性能を更に追求した  
「Hyper-ストレート NT 工法」を開発

日本コンクリート工業株式会社

日本コンクリート工業株式会社（社長：塚本 博）と株式会社トーヨーアサノ（社長：植松 泰右）は、既製杭工事のプレボーリング型高支持力工法である「Hyper-ストレート NT 工法（先端地盤：砂・礫質地盤）」を共同で開発し、2024年1月12日付けで国土交通大臣の認定を取得しました。

本工法は、既存の高支持力工法である「Hyper-ストレート工法」を踏襲したうえで、適用範囲を拡充し、設計自由度の向上を実現した NEXT（NT）工法です。

### 1. 本工法の特長

先行して地盤を全長ストレート掘削したのち、杭を挿入するプレボーリング工法です。根固め部・杭固定部は同一配合により確実な品質管理を行い、根固め部に位置する先端には溝を有する杭を使用し、根固め部と杭体の一体性をより強固なものとする構造により更なる高支持力化を実現しております。

今回開発しました「Hyper-ストレート NT 工法」では、従来工法（Hyper-ストレート工法）の性能を次の通り向上させております。

#### ・適用範囲を拡充し、設計自由度の向上を実現

杭 径 :  $\Phi 300 \sim \Phi 1200 \text{mm}$   
施工長 : 砂質地盤 GL-65.9m、礫質地盤 GL-69.0m  
杭先端平均 N 値 :  $17 \leq N \leq 60$

#### ・更なる高支持力化を実現

杭先端支持力係数 :  $\alpha = 417$   
砂質地盤における杭周面摩擦力係数 :  $\beta = 7.71$   
粘土質地盤における杭周面摩擦力係数 :  $\gamma = 0.85$

### 2. 今後の展開

簡易な品質管理のもとに施工が可能で、より確実に高い支持力を提供することが可能となります。全国の多様な地盤や建造物に適用し、市場展開してまいります。

### 3. 国土交通大臣認定番号

先端地盤 砂質地盤 : TACP-0675  
礫質地盤 : TACP-0676

以上

～ 本新工法に関するお問い合わせ ～

日本コンクリート工業株式会社 基礎営業部

Tel : 03-3452-1181/1182 FAX : 03-3452-1125

<https://www.ncic.co.jp/contact/>

- ・適用範囲を拡充
- ・設計自由度の向上
- ・更なる高支持力化

⇒ 今後、市場展開  
を推進する

◆コンクリート由来のCO<sub>2</sub>排出量を約40%削減するグリーンONAパイルの出荷を開始。  
製品供給力の増大とともにグリーン製品の市場展開に向けて取り組みを進めていく。

- ・ 案件概要： 埼玉県内の公共事業案件
- ・ 出荷開始時期： 2024年1月中旬
- ・ 出荷量見込み： 約2,000トン



1. 2023年度中間業績概要
2. トピックス
- 3. 2023年度通期業績・配当予想**
4. 参考資料



# 通期業績予想

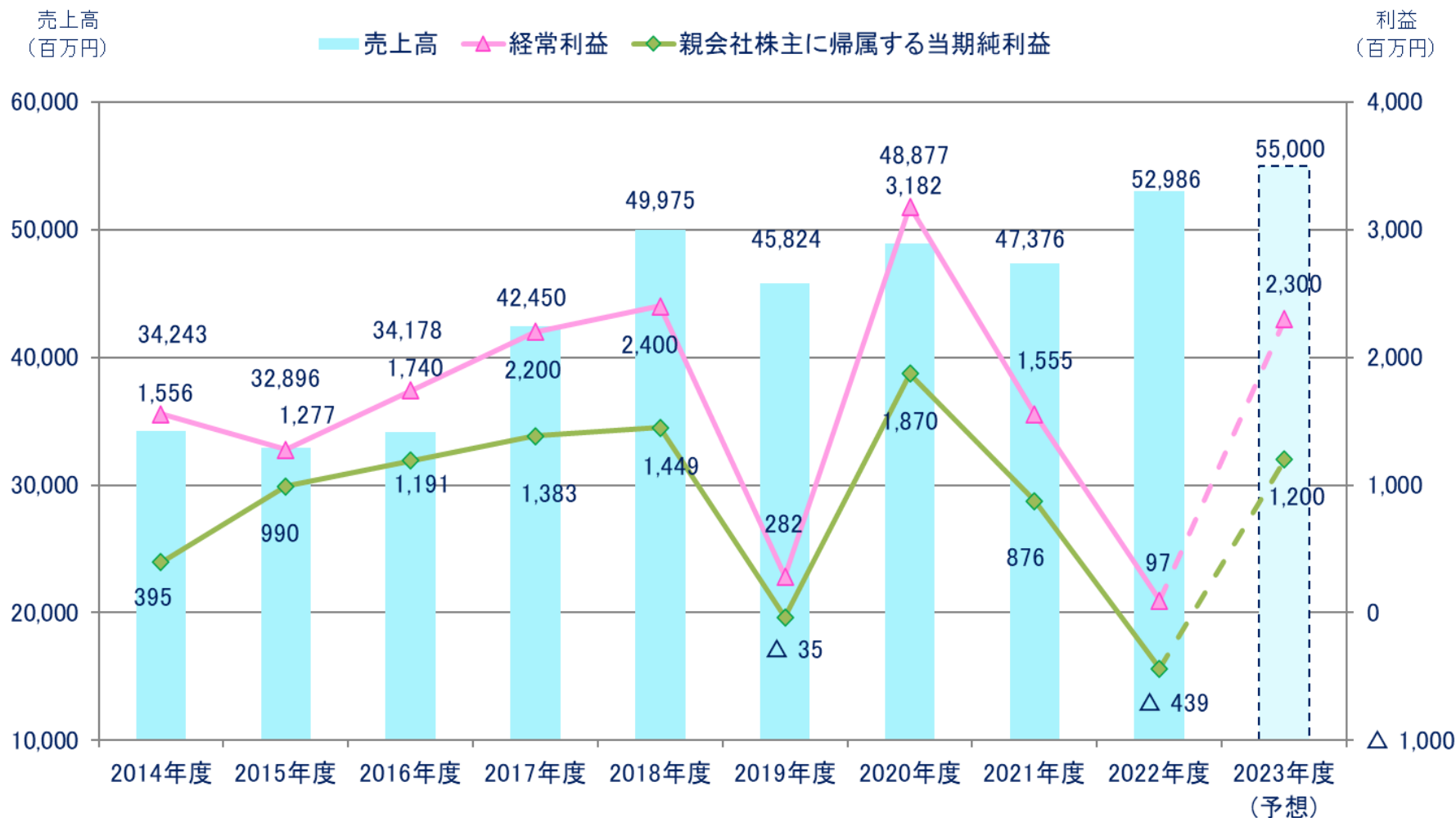


◆下期は期初想定通りと見込まれ、上期の上振れ分のみを通期予想に反映させ上方修正。

(単位:百万円)

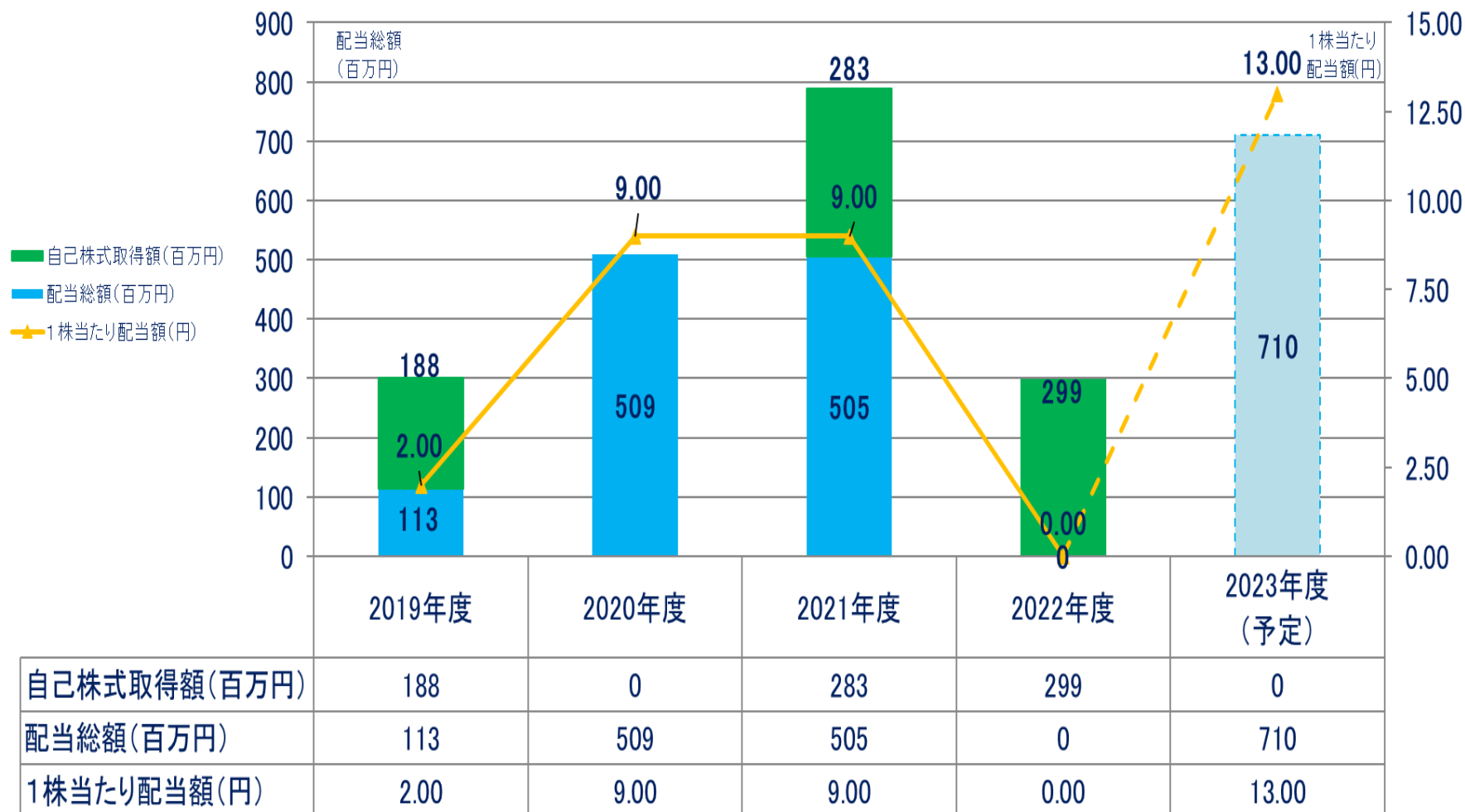
	2022年度		2023年度(1/17 公表値)		2023年度(1/11 公表値)		通期比		通期業績 予想に対する 進捗率
	前期実績 (A)		中間期 (実績)		通期(予想) (B)		増減額 (B) - (A) = (C)	増減率 (C) / (A)	
売上高	52,986	100.0%	26,433	100.0%	55,000	100.0%	2,013	3.8%	48.1%
営業利益	△ 228	-0.4%	1,273	4.8%	1,900	3.5%	2,128	-	67.0%
経常利益	97	0.2%	1,529	5.8%	2,300	4.2%	2,202	2,270.4%	66.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 439	-0.8%	808	3.1%	1,200	2.2%	1,639	-	67.4%
配当(円)	0.0	-	6.5	-	13.0	-	13.0	-	-

## ◆ 過去10年間の推移(通期)



# 通期配当予想

- ◆ 前期無配を受け、期初想定で配当性向を90%に引き上げ年間13円配当を期初予想。
- ◆ 現時点では、利益の積み増しに尽力しつつ、期初予想の配当必達を目指す。





## ◆ご注意

この資料に記載されている業績予想等は、本資料作成時において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります、いかなる確約や保証を行うものではありません。

## ◆お問い合わせ先

日本コンクリート工業株式会社

社長室 株式・IRグループ

TEL : 03-3452-1025

FAX : 03-3452-1121

E-mail : [ir@ncic.co.jp](mailto:ir@ncic.co.jp)

HP : <https://www.ncic.co.jp/>



# 参考資料

1. 連結損益計算書 概要
2. 連結貸借対照表 概要
3. 連結キャッシュフロー 概要
4. 22年度・23年度上期地域別パイル需要
5. 23年度上期パイル全国需要推移
6. 23年度上期パイル全国生産・出荷実績及びシェア
7. 23年度上期ポール全国需要推移
8. 23年度上期ポール全国生産・出荷実績及びシェア
9. 連結売上高営業利益率/経常利益率の推移
10. 設備投資/減価償却費の推移
11. 社債・借入金残高の推移
12. 会社概要
13. 経営理念
14. 事業領域
15. 製品・工法紹介
16. 生産・営業拠点

# 連結損益計算書概要



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

(単位:百万円)

科目	前中間期		当中間期		増減額 (B)-(A)=(C)	増減率 (C)/(A)
	(A)		(B)			
売上高	24,608	100.0%	26,433	100.0%	1,825	7.4%
売上原価	21,283	86.5%	21,765	82.3%	482	2.3%
売上総利益	3,324	13.5%	4,667	17.7%	1,343	40.4%
販管費及び一般管理費	3,283	13.3%	3,394	12.8%	110	3.4%
営業利益	40	0.2%	1,273	4.8%	1,232	3,034.6%
営業外損益	323	1.3%	256	1.0%	△ 66	△ 20.6%
経常利益	363	1.5%	1,529	5.8%	1,166	320.4%
特別損益	△ 7	0.0%	58	0.2%	66	-
税金等調整前四半期純利益	356	1.4%	1,588	6.0%	1,232	346.2%
法人税、住民税及び事業税	208	0.8%	652	2.5%	443	213.0%
法人税等調整額	34	0.1%	15	0.1%	△ 19	△ 56.0%
四半期純利益	113	0.5%	921	3.5%	807	713.8%
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	0.3%	112	0.4%	48	76.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	49	0.2%	808	3.1%	759	1,532.9%

# 連結貸借対照表概要



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

(単位:百万円)

科目	前期末	当中間期	増減額	科目	前期末	当中間期	増減額
	(A)	(B)	(B) - (A)		(A)	(B)	(B) - (A)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	34,559	35,672	1,112	流動負債	25,466	26,616	1,150
現金及び預金	7,136	9,114	1,978	仕入債務	15,440	15,775	334
売上債権	16,686	15,147	△ 1,539	短期借入金(含む1年内)	6,171	6,290	119
棚卸資産	9,680	10,534	854	その他	3,854	4,550	696
その他	1,056	876	△ 179	固定負債	13,938	13,681	△ 256
固定資産	42,503	44,706	2,202	社債	140	120	△ 20
有形固定資産	26,452	26,278	△ 174	長期借入金	6,697	5,807	△ 890
無形固定資産	596	841	244	その他	7,100	7,754	653
投資その他の資産	15,454	17,586	2,131	負債合計	39,404	40,298	894
				(純資産の部)			
				株主資本	26,451	27,261	810
				その他の包括利益累計額	8,498	9,992	1,494
				非支配株主持分	2,709	2,825	115
				純資産合計	37,658	40,080	2,421
資産合計	77,063	80,378	3,315	負債純資産合計	77,063	80,378	3,315



# 連結キャッシュフロー概要



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

(単位：百万円)

		前中間期	当中間期	増減額
		(A)	(B)	(B) - (A)
営業活動によるCF	税金等調整前四半期純利益	356	1,588	1,232
	減価償却費	918	882	△ 36
	売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△ 1,506	1,539	3,046
	棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 836	△ 854	△ 18
	仕入債務の増減額 (△は減少)	1,002	334	△ 667
	その他	△ 45	△ 62	△ 16
	計	△ 110	3,429	3,539
投資活動によるCF		△ 693	△ 609	84
財務活動によるCF		△ 901	△ 849	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 1,707	1,978	3,685
現金及び現金同等物の期首残高		8,599	7,136	△ 1,463
現金及び現金同等物の四半期末残高		6,892	9,114	2,222
フリー・キャッシュ・フロー*		△ 804	2,820	3,624

\* フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

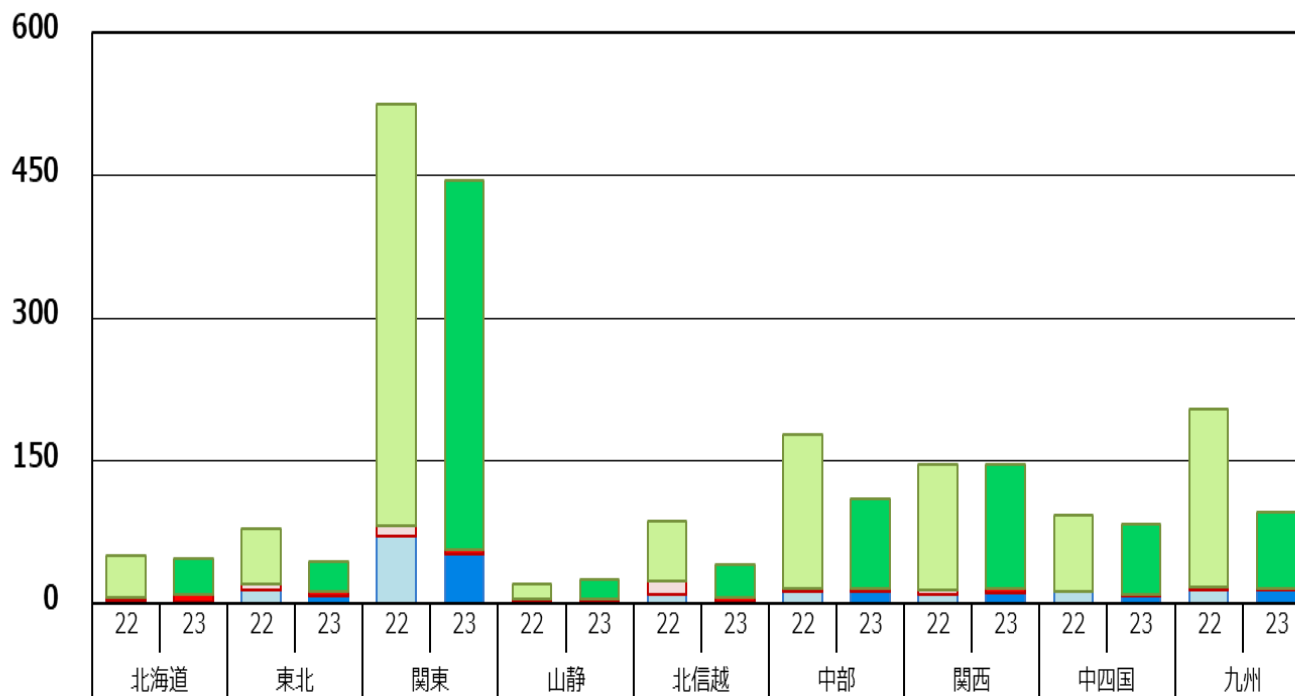
# 22年度・23年度上期地域別パイル需要



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

千トン

■支持杭 ■節杭 ■高支持力杭

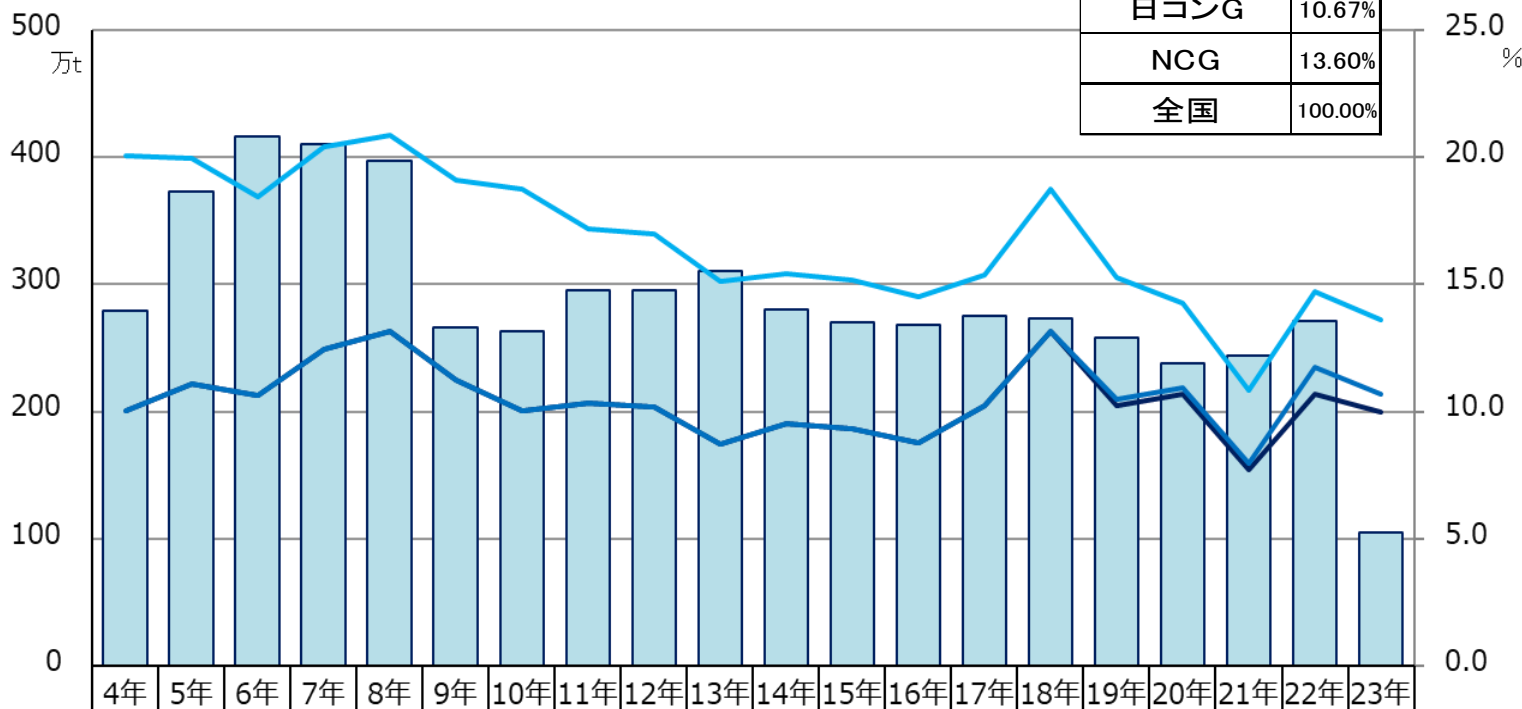


	22	23	増減率	
高支持力杭	45	38	58	32
節杭	3	8	7	4
支持杭	3	1	14	8
計	52	48	80	45
合計(千トン)	1,190	895	-24.8%	
	51	37	-26.5%	
	153	115	-24.6%	
	1,394	1,048	-24.8%	

※本資料は(一社)コンクリートパイル・ポール協会資料に当社数値を加算し、試算しております。

# 23年度上期パイル全国需要推移

NC	9.98%
日コンG	10.67%
NCG	13.60%
全国	100.00%



■ 全国(万t)	279	373	416	410	397	266	263	295	296	310	280	270	268	275	273	258	238	244	271	105
— NCシェア(%)	10.0	11.1	10.6	12.5	13.2	11.2	10.0	10.3	10.2	8.7	9.5	9.3	8.8	10.2	13.1	10.2	10.7	7.7	10.7	10.0
— 日コンGシェア(%)	10.0	11.1	10.6	12.5	13.2	11.2	10.0	10.3	10.2	8.7	9.5	9.3	8.8	10.2	13.1	10.5	11.0	8.0	11.7	10.7
— NCGシェア(%)	20.0	20.0	18.4	20.4	20.9	19.1	18.7	17.2	17.0	15.1	15.4	15.1	14.5	15.4	18.7	15.2	14.3	10.8	14.7	13.6

※NCシェア: 日本コンクリート工業(株)+NC貝原コンクリート(株)

※日コンGシェア: 日本コンクリート工業(株)+NC貝原コンクリート(株)+北海道コンクリート工業(株)+東北ポール(株)

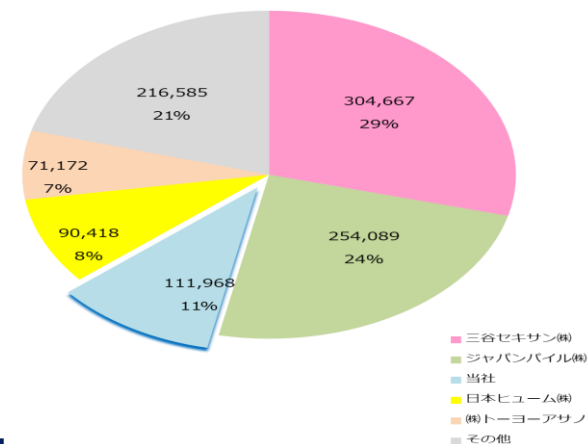
※本資料は(一社)コンクリートパイル・ポール協会資料に当社数値を加算し、試算しております。

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産シェア	前年同期比	出荷シェア	前年同期比
1	三谷セキサン(株)	308,289	304,667	28.67%	↓	29.05%	↓
2	ジャパンパイル(株)	263,531	254,089	24.51%	↓	24.22%	↓
3*	日本コンクリート工業(株)	121,459	111,968	11.30%	↓	10.67%	↓
4	日本ヒューム(株)	107,504	90,418	10.00%	↑	8.62%	↑
5	(株)トーヨーアサノ	80,168	71,172	7.46%	↑	6.79%	↑
6	前田製管(株)	47,750	60,608	4.44%	↑	5.78%	↑
7	マナック(株)	26,565	26,753	2.47%	↓	2.55%	↓
8	藤村クレスト(株)	21,148	23,251	1.97%	→	2.22%	→
9	児玉コンクリート工業(株)	13,810	21,763	1.28%	→	2.07%	↑
10	日本高圧コンクリート(株)	21,872	18,219	2.03%	→	1.74%	→
その他	19社	63,135	65,991	5.87%		6.29%	
計 (32社)		1,075,231	1,048,899	100.00%		100.00%	

注) 1.順位に\*印のついた会社は、NCグループ。

2.前年同期比の→は、シェアの変化が-0.3%~+0.3%

3.当社は、日本コンクリート工業・NC貝原コンクリート(株)・東北ポール(株)・北海道コンクリート工業(株)の4社合計



## 【当社内訳】

### 2023年度上期

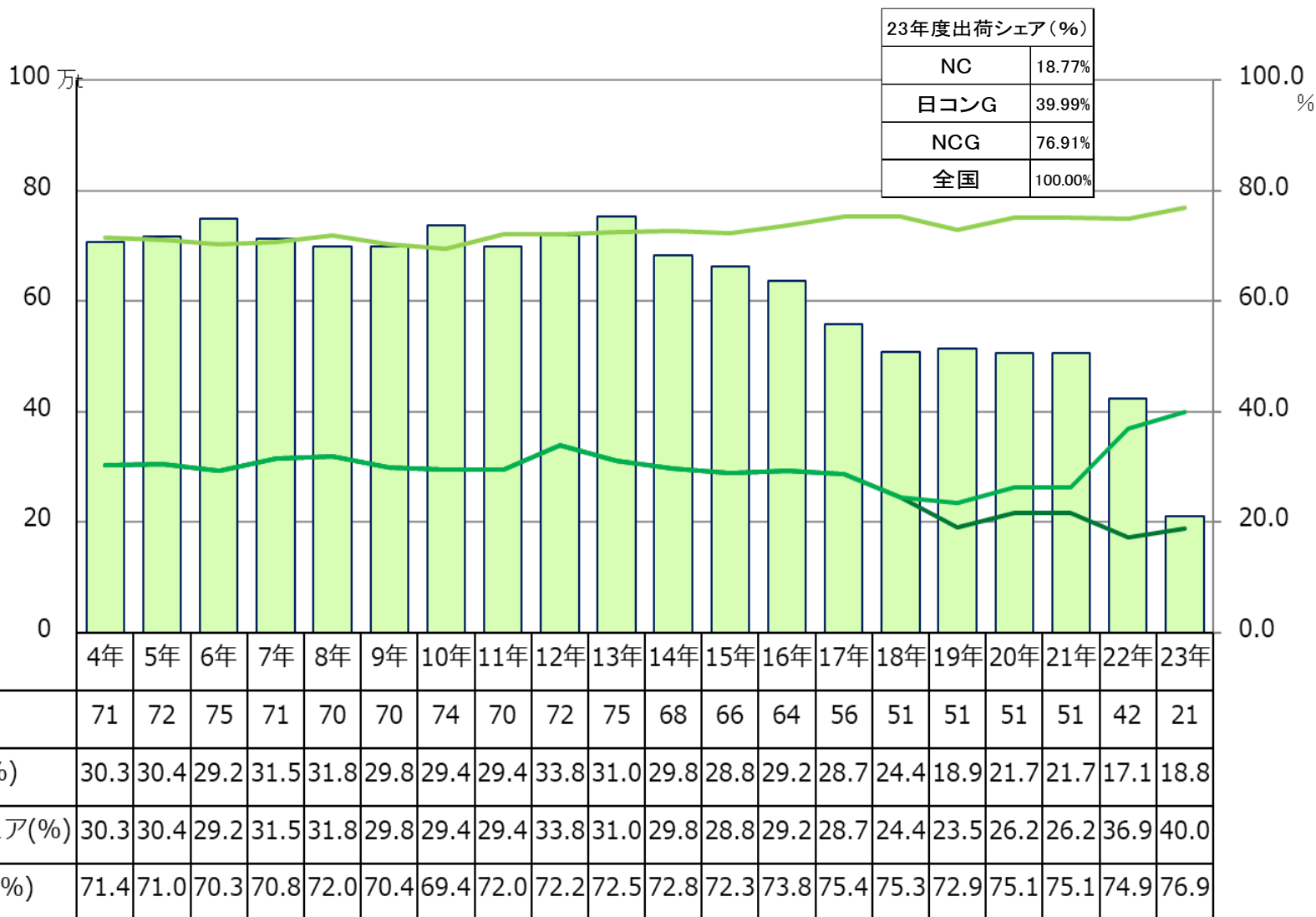
	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産シェア	前年同期比	出荷シェア	前年同期比
3*	日本コンクリート工業(株)	112,548	100,064	10.47%	→	9.54%	→
14*	東北ポール(株)	7,758	5,996	0.72%	→	0.57%	→
17	NC貝原コンクリート(株)	-	4,600	-		0.44%	→
26*	北海道コンクリート工業(株)	1,153	1,308	0.11%	→	0.12%	→

### 2022年度(昨年度)上期

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産シェア	前年同期比	出荷シェア	前年同期比
3*	日本コンクリート工業(株)	148,286	134,505	10.63%	↑	9.64%	↑
14*	東北ポール(株)	10,932	9,449	0.78%	↑	0.68%	→
16	NC貝原コンクリート(株)	-	7,710	-		0.55%	→
22*	北海道コンクリート工業(株)	2,548	3,031	0.18%	→	0.22%	→
日コングループ合計		161,766	154,695	11.60%	↑	11.09%	↑

※本資料は(一社)コンクリートパイプ・ポール協会資料に当社数値を加算し、試算しております。

# 23年度上期ポール全国需要推移



※日コンGシェア: 日本コンクリート工業(株)+北海道コンクリート工業(株)+東北ポール(株)

※本資料は(一社)コンクリートパイル・ポール協会資料に当社数値を加算し、試算しております。

# 23度上期パイル全国生産・出荷実績及びシェア



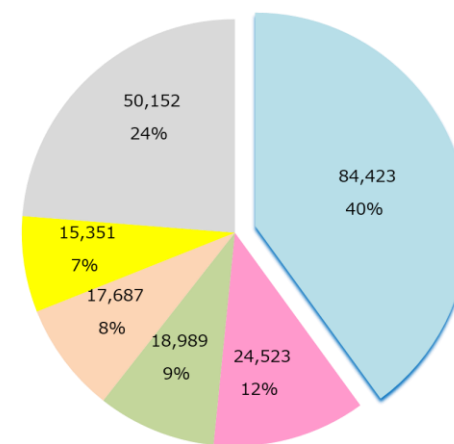
日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1*	日本コンクリート工業(株)	81,402	84,423	39.62%	↑	39.99%	↑
3	大日コンクリート工業(株)	25,952	24,523	12.63%	↓	11.62%	↓
4*	九州高圧コンクリート工業(株)	18,763	18,989	9.13%	↓	8.99%	→
5*	中国高圧コンクリート工業(株)	14,355	17,687	6.99%	↓	8.38%	↓
6	東海コンクリート工業(株)	15,970	15,351	7.77%	↓	7.27%	↓
7*	(株)日本ネットワークサポート	15,937	15,294	7.76%	↑	7.24%	↑
8*	三谷セキサン(株)	14,499	14,914	7.06%	↓	7.06%	↓
10	日本高圧コンクリート(株)	8,081	9,014	3.93%	↑	4.27%	↓
11*	日本海コンクリート工業(株)	6,433	6,939	3.13%	→	3.29%	→
12*	沖縄テクノクリート(株)	3,566	3,310	1.74%	↑	1.57%	↑
その他	2社	509	681	0.25%		0.32%	
計(14社)		205,467	211,125	100.00%		100.00%	

注) 1.順位に\*印のついた会社は、NCグループ。

2.前年同期比の→は、シェアの変化が-0.3%~+0.3%

3.当社は、日本コンクリート工業・東北ポール(株)・北海道コンクリート工業(株)の3社合計



■ 当社  
■ 大日コンクリート工業(株)  
■ 九州高圧コンクリート工業(株)  
■ 中国高圧コンクリート工業(株)  
■ 東海コンクリート工業(株)  
■ その他

## 【当社内訳】 2023年度上期

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1*	日本コンクリート工業(株)	37,847	39,633	18.42%	↑	18.77%	↑
2*	東北ポール(株)	32,140	32,889	15.64%	↑	15.58%	↑
9*	北海道コンクリート工業(株)	11,415	11,901	5.56%	→	5.64%	→

## 2022年度(昨年度)上期

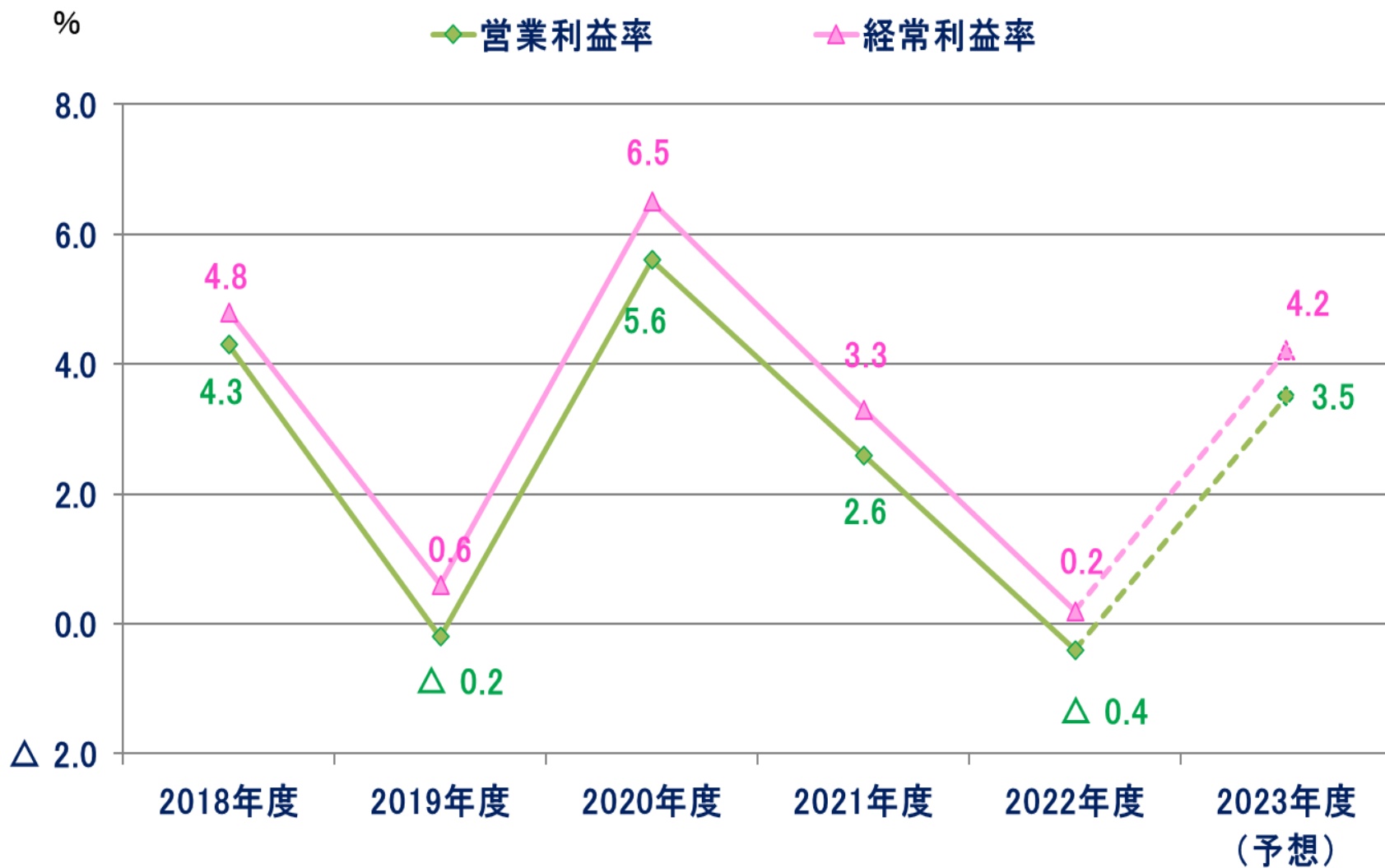
	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1*	日本コンクリート工業(株)	38,035	36,452	17.83%	↓	17.12%	↓
2*	東北ポール(株)	29,634	32,152	13.89%	→	15.10%	↑
9*	北海道コンクリート工業(株)	11,694	11,686	5.48%	↑	5.49%	↑
日コングループ合計		79,363	80,290	37.20%	↑	37.72%	↑

※本資料は(一社)コンクリートパイル・ポール協会資料に当社数値を加算し、試算しております。

# 連結売上高営業利益率/経常利益率の推移

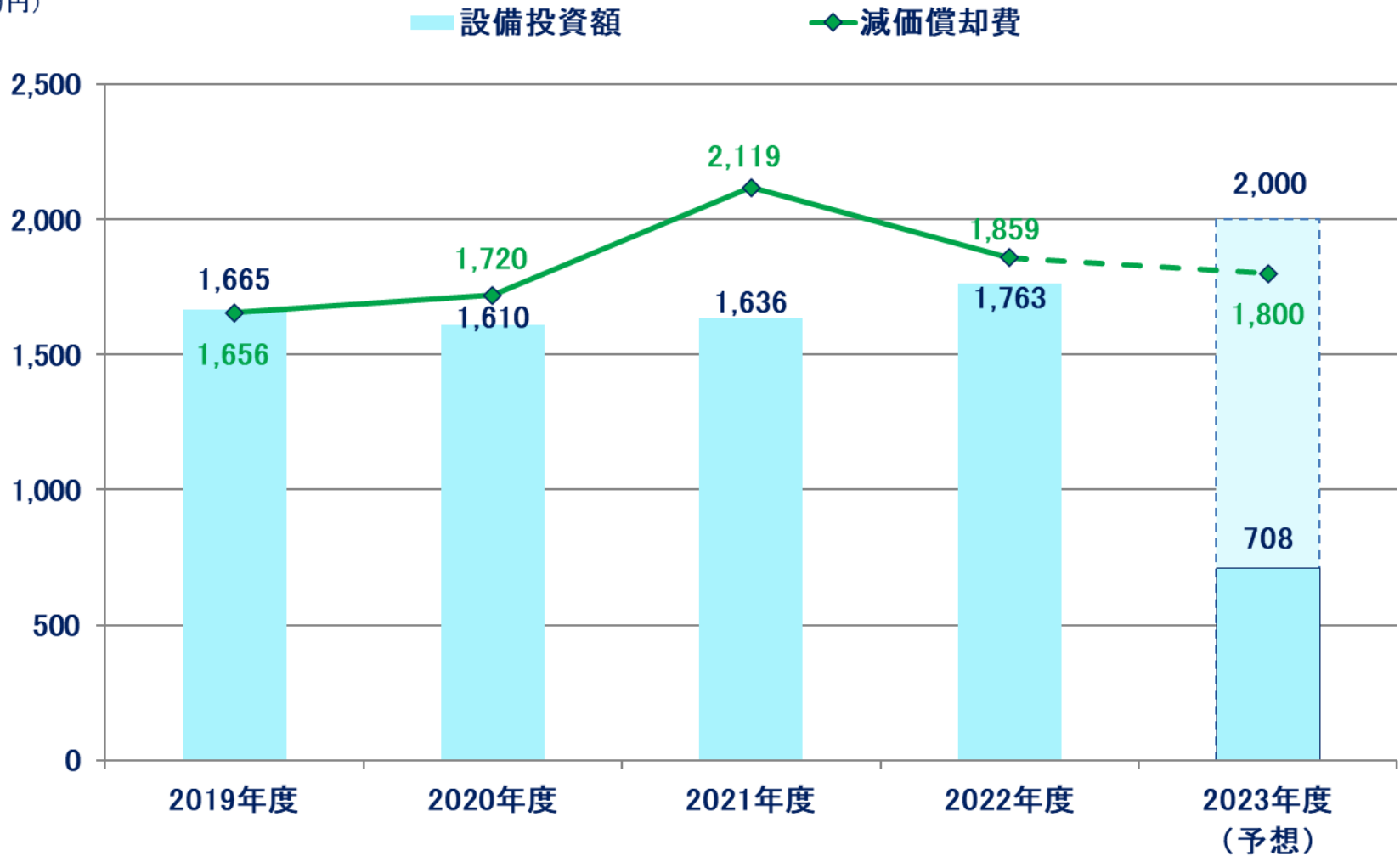


日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.



# 設備投資/減価償却費の推移

(百万円)

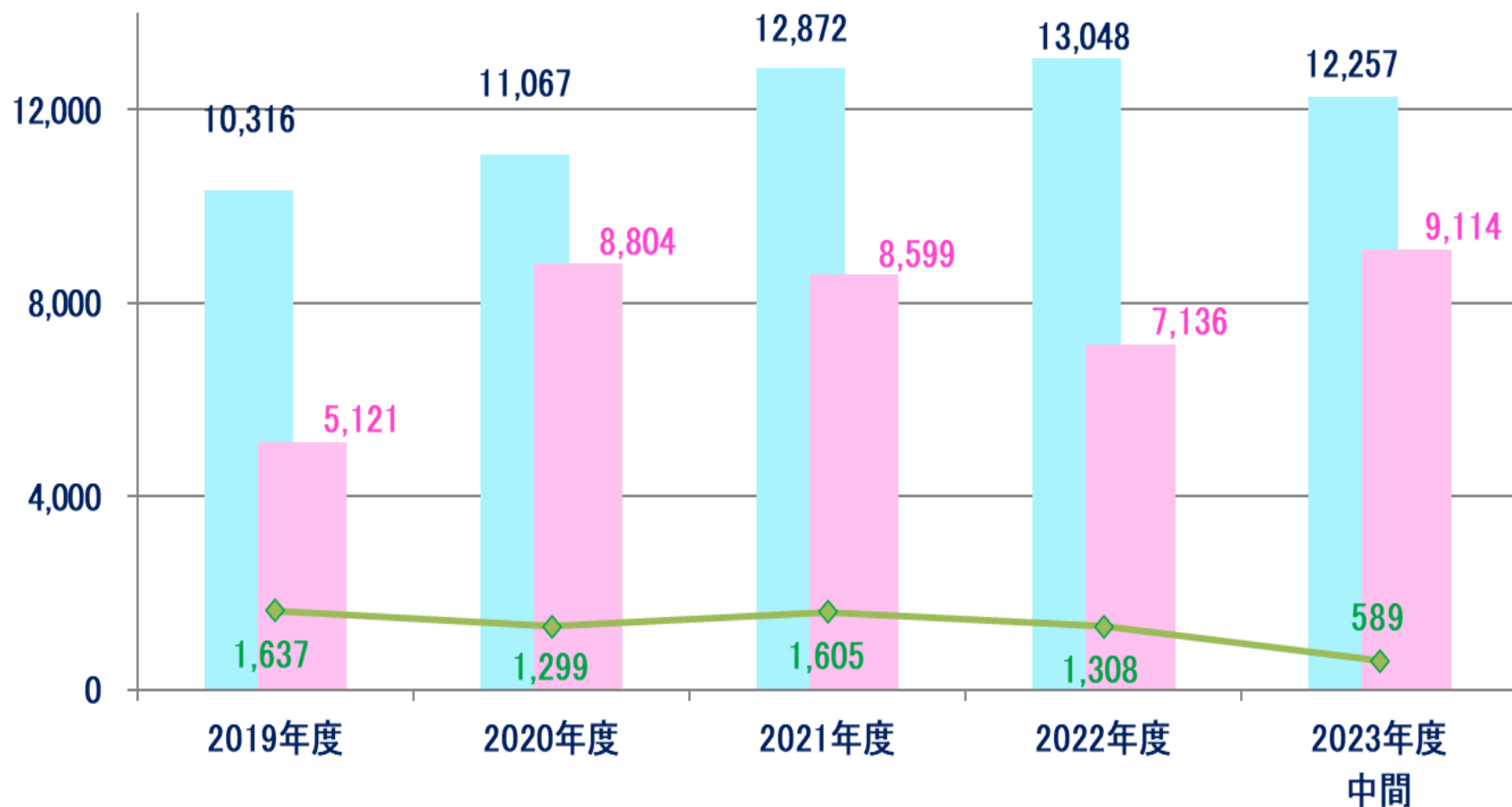




# 社債・借入金残高の推移

百万円

■ 社債・借入金 ■ 現預金残高 ◆ 有形固定資産取得(CF)



商	号	日本コンクリート工業株式会社 (英:NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.)					
設	立	1948年(昭和23年)8月5日					
代	表	代表取締役社長 塚本 博					
本	社	所在地	〒108-8560 東京都港区芝浦四丁目6番14号 NC芝浦ビル				
上	場	取	引	所	東京証券取引所プライム市場(証券コード5269) 1967年(昭和42年)10月 市場第一部上場		
資	本	金	5,111百万円				
事	業	内	容	コンクリートポール、コンクリートパイルおよびプレキャスト製品の製造、 販売ならびに施工			
品質	マネジメント	システム	ISO9001認証取得(2000年6月)				
従	業	員	数	1,416名(2023年9月末現在 連結)			
日	コ	ン	グ	ル	ー	プ	当社の子会社で製造・施工・販売・物流・サービスを事業とする26社で構成
NC	グ	ル	ー	プ	(NCG)	コンクリートポール・パイルの当社製造技術(技術供与先)を核とする 14社30工場で全国をネット	

## 経営理念

日コングループは  
「コンクリートを通して、  
安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する」  
ために存在します



## 行動理念

私たちは、

1. お客様を大切にし、社員の働き甲斐と幸せの実現を目指します
2. コンクリートでお客様に感動を与える高い技術力を保持し、品質至上を目指します
3. 適正利潤を確保し、企業価値を高め、株主の信頼と社員の幸福を目指します
4. 私たち社員は
  - ・ 熱きチャレンジの心を持っております
  - ・ 常に自己革新を目指します
  - ・ 失敗を責めず、失敗から学びます
  - ・ 社内外での挨拶を励行します

# 事業領域



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

## 基礎事業



施工現場



パイル(エスタス105)

## ポール関連事業



COP



擬木柱



ポールメンテナンス

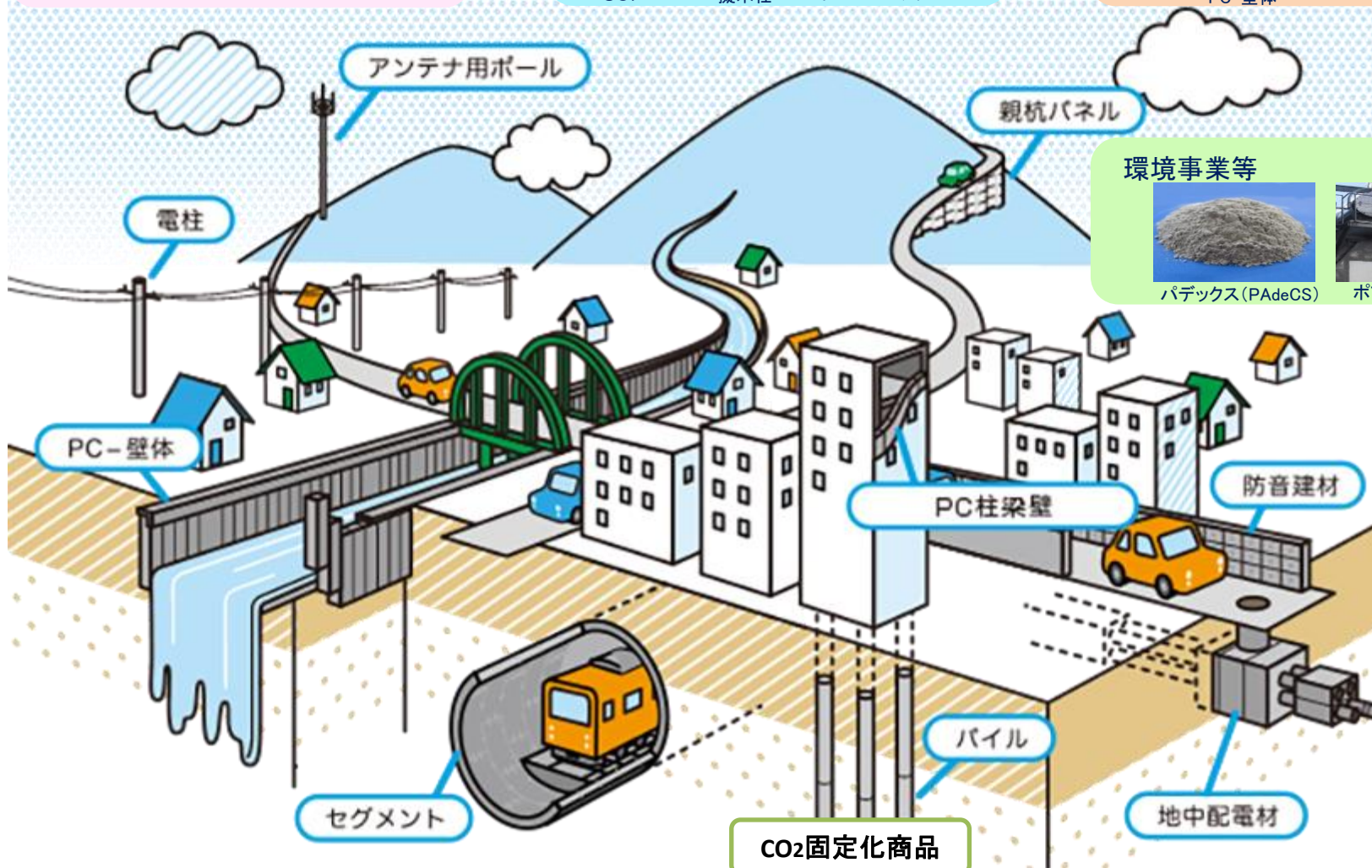
## 土木製品事業



PC-壁体



RCセグメント



## 環境事業等



パデックス(PAdeCS)



ポアセル(吸音材)

## 海外事業



NCミャンマー

## ■コンクリートパイプ

さまざまな施工ニーズに対応した基礎杭

- ・PHCパイプ
- ・G-ONAパイプ
- ・PRCパイプ
- ・SCパイプ
- ・節付杭
- ・エスタスパイル
- ・RSCパイプ、RSCPパイプ
- ・SPHCパイプ

なお、PHCパイプには外観形状が異なる、HMパイプ、HBパイプなどがあります。

### ※差別化技術

- ◆ G-ONAパイプ **独自製品** **環境製品**
- ◆ エスタスパイル **独自製品**
- ◆ スマートカットオフ工法 **独自製品**  
(RSCパイプ、RSCPパイプ)
- ◆ 地中熱利用ヒートポンプシステム

## ■得意先

官公庁、ゼネコン



エスタスパイル  
SC杭とPHC杭を一体化させ、継手箇所を削減し施工効率を高め、経済的な設計を可能とする杭

## 高支持力工法

### ■Hyper-MEGA工法

先端部に超高強度の節付き杭を用いるプレボーリング系高支持力杭工法

### ■Hyper-ストレート工法

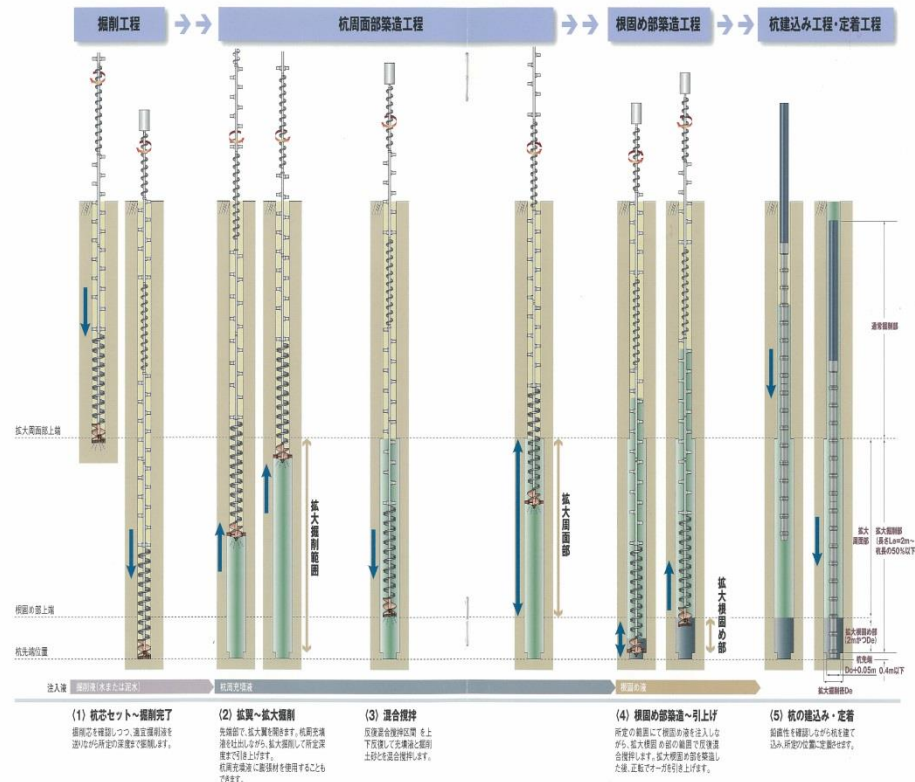
全長同径のストレート掘削で標準既製コンクリート杭を使用するシンプルな工程のプレボーリング系高支持力杭工法

### ■Hyper-NAKS II 工法

従来のHyper-NAKS工法をさらに進化させ、地盤支持力をより大きくした中掘り系高支持力杭工法

### ■H・B・M工法

HBパイル(溝付き拡底杭)を使用し、球根部の軸力と摩擦支持力を確実に発揮するプレボーリング系高支持力杭工法



Hyper-MEGA工法施工図

## 道路拡幅・斜面对策工事

### ■PCW工法

防滅災・国土強靱化

安定性と強度を備えたプレキャストコンクリートパネルで壁面を構築し、背面へは気泡混合軽量盛土を充填することにより、道路拡幅では斜面に耐久性の高い盛土構造物を経済的に構築し、老朽化した橋梁では気泡混合軽量盛土にて埋没して耐震補強・橋梁拡幅を経済的に構築する工法

## 現場打ちグラウンドアンカー受圧板

### ■フィットフレーム工法

防滅災・国土強靱化

軽量で施工性に優れ、フィットシートにより地山に密着し、理想的な荷重分布が得られる受圧板であり、逆巻き施工にも適用可能な工法

## 湧水のり面对策・緑化促進軽量のり枠工法

### ■メッシュリング工法

防滅災・国土強靱化

土の安定性に優れ、凹凸に対応し、通水性・通気性の遮断がなく植物の根茎の発育に良好な工法



PCW工法

## ■コンクリートポール

5G、6G

トップシェア

配電線路、通信線路、電車線路、防球ネット、照明、  
移動体通信アンテナ、交通信号機、防災無線、  
小型風力発電などの支持物、継ポール・その他の  
ポール、ポール付属部品

これらのコンクリート柱の点検・補修

### ※差別化製品

- ◆ COP (嵌合式ポール)、NC-FCポール、  
NC-SFCポール、TPハイポール、  
ハーモニックポール
- ◆ NCハイポール、SCポール
- ◆ PC基礎体
- ◆ NCタワー

## ■得意先

NTTグループ、北海道電力NW(株)、  
東北電力NW(株)、東京電力PG(株)、  
四国電力送配電(株)、携帯電話各社、JR、  
鉄道各社、官公庁

COP (嵌合式ポール)



NC-SFCポール接合部拡大



## ■土木製品

防減災・国土強靱化

- ・擁壁（PC-壁体、親杭パネル）
- ・地中配電材（マンホール、ハンドホール）
- ・防音・吸音材（NJ軽量高欄、ポアセル）
- ・トンネル覆工材（セグメント、PCL）
- ・超高強度繊維補強コンクリート（ダクトル、サクセム）
- ・その他一般土木（ボックスカルバート、パワー  
スラブ）

## ※差別化製品

独自製品

- ◆ PC-壁体
- ◆ 親杭パネル
- ◆ ポアセル
- ◆ NJ軽量高欄

## ■得意先

官公庁、公益企業、鉄道各社、ゼネコン



RCセグメント



PC-壁体

# 生産・営業拠点



日本コンクリート工業株式会社  
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

工場名	所在地	製造品	営業拠点
川島工場	茨城県筑西市	ポール・パイル・土木製品	<b>本社</b> 仙台営業所 茨城営業所 名古屋支店 ポール関連事業 名古屋営業所 四日市営業所 大阪支店 広島支店 岡山営業所 四国支店 愛媛営業所 九州支店 筑豊営業所 熊本営業所 沖縄営業所 ジャカルタ駐在員事務所 NC貝原コンクリート NC工基 NCプレコン フリー工業 NIPPON CONCRETE (Myanmar) 北海道コンクリート工業 東北ポール
鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	ポール	
古河工場	茨城県古河市	パイル	
高砂工場	兵庫県高砂市	ポール・パイル	
滋賀工場	滋賀県湖南市	パイル	
九州工場	福岡県直方市	ポール・パイル	
和気工場	岡山県和気町	パイル・PC床版	
笠岡工場	岡山県笠岡市	パイル	
小松工場	愛媛県西条市	ポール・パイル	
四日市工場	三重県四日市市	パイル	
板倉工場	群馬県板倉町	セグメント	
女方工場	茨城県筑西市	セグメント	
三重鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	セグメント	
結城工場	茨城県結城市	ポール・パイル用部分品加工	
鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	パイル用部分品加工	
古河工場	茨城県古河市	パイル用部分品加工	
茨城工場	茨城県古河市	パイル用鋼材加工	
岡山工場	岡山県和気町	建築部材	
モーラマイン工場	ミャンマー国モン州	ポール・パイル	
登別工場	北海道登別市	ポール・パイル・土木製品	
白河工場	福島県白河市	ポール・パイル・土木製品	
北上工場	岩手県北上市	ポール・パイル・土木製品	